

お元気ですか♡



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-1上雅ビル1F



日本共産党

県政ニュース はた 愛

2024年2月18日 No.881

いかにちや! 港で自衛隊訓練? なぜ、県は「軍事化ではない」と言い切れるのか 高知港・須崎港・宿毛港 軍事利用ストップへ世論を

狙いは日米共同軍事訓練の拡大

岸田政権の下で防衛予算の2倍化が行われまし
た。その背景には、国の安全保障政策が日本とアメ
リカが一体となり軍事体制を強化するとしている
事にあります。

全国各地の空港や港が「特定重要拠点」候補と位
置付けられました。その中には高知港(新港を含
む)・須崎港・宿毛港があげられています。

昨年10月、防衛省、国土交通省、海上保安庁が
県庁を訪ねてきました。しかし会議は「秘密」公開
しない形で行われ、マスクも取材も拒否しました。
その後11月に、国土交通省は高知県に対し3港
を候補とする通達を行いました。

県は口頭で「県民への説明」を要請したと言いま
すが、未だに県民の多くは知らないままです。

地方自治権は無視か、強引な動き

政府は従えとばかり、自治体への説明や状況を十
分に聞くことなく「台湾有事」を想定した戦争準備
とも言える動きを強めています。

憲法92条は、国から独立して自治体は、自らの
判断と責任で地域行政を行うと位置づけています。
軍事的な危険を呼び込むような

港の利用は認められません。

高知市をはじめ多くの市町村は
「平和都市宣言」を行っています。

県は住民の立場で、国対して、
軍事化はダメと言うべきです。

暮らしこそ助ける政治を

能登の震災復興、物価高騰への
対応など、国が最優先にやるべき
事は軍事化以外に、たくさんあり
ます。大事な税金は暮らしに回す
よう世論を広げていきましょう。

港の軍利用化問題学習会

日時: 2月21日(水)18時

会場: 高知城ホール2階

講師: 千坂純(平和委員会事務局長)

おたまじゃくし

菜の花が揺れる。よく足元を見ると朝日の刺激で、
膨らんだフキノトウ。小さいのに硬い土を破る植物の
生命力に感動。弱くても押し続ける先には・・・政治も
変わるかな。春よ来い。

先日、小津高校で県議との交流会があり、初参加。
学生たちが地域課題の解決策をグループで考え調査、
発表する。80テーマの内、地域交通と地域防災が取り
上げられた。素晴らしいのは、お年寄りや障害者、
子ども達が困っている現実に向き合っていること。

ケアする(人間生活を支える)のは、他人ではなく
自分であると考え動く力をもっている、ここに10代
の温かさと希望を感じた。でも、本当は「自分たちの
未来」「学校改革」「世界」自由への渴望を広く考え、
対話する時間も欲しかったのではないだろうか。

彼らが社会に出る今、労働や結婚、子育てへの価値
観は変化、前進し、より政治の遅れを浮き彫りにする。
社会の変革者、リーダーは昔も今も若者だろう。
若者の声を、女性の声を私たちはもっと聴こう!

2024年・県新年度予算(案)

特徴:若者人口の増加を目指す

奨学金返済支援、最大180万円

学生の奨学金の実態は平均借入額310万
円、一ヶ月の平均返済額1万5千円。平均の返
済期間は14.5年です。重く長い負担です。

県は、大学等卒業予定者や県外に住んでいる
35歳までの方を対象に、奨学金を受けている
場合、県内企業に正規で就職を希望するケース
や就職後6年間、当該企業で働き、県内に住む
見込みの方に奨学金返済として60万~180
万円の支援を行う提案しました。

女性や外国人の働きやすさ向上へ

仕事場の環境改善にも補助金が提案されまし
た。翻訳機器や社内マニュアルの
多言語化、女性用多目的
トイレやキッズルームの整備、
パワーアシストスーツの購入など
に使える補助金です。



無料 生活・法律相談会

2月18日 午前10時~12時

新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士

毎月・第3日曜日 開催中!